

我がまち、我が自治会



(写真：南自治会館)

活発な活動をしている南自治会

会長 嘉松 皓
広報部長 篠崎 正信

南自治会は、相模原市の南端に位置し、小田急江ノ島線沿いに中央林間駅方面に大和市との市境まで細長く伸びていて、林間自治会と相和自治会に隣接しております。会員総数は約450世帯で、戸建の多い静かな住宅地です。

3年前に新築した自治会館は、東林みなみ公園に隣接しており、公園の清掃はもちろん、行事を行うときは大変便利に活用しています。また、災害時には小規模ながら準防災拠点としても使用できるように、簡易型消火設備と地下備蓄倉庫を有しております。

自治会の基本的な方針は、「明るく楽しいみんなの自治会」と「安全で安心できるきれいなまちづくり」と「自治会館を利用しよう」の3点です。

今後の課題として、未来の自治会を背負って立つ子どもたちが、「ここがふるさと」と思えるように、春・秋の集いには親子パターゴルフ、納涼祭では子ども神輿を担ぎ、餅つき大会、地区の体育祭

への参加、役員も参加してのクリスマス会などたくさん行事を通して子ども育成の一端になります。

相模大野ハイツ自治会

会長 谷 健一郎

相模大野ハイツは7階建ての2棟、280世帯からなり、1971年に分譲された東林地区でも最古参のマンションです。

目の前にはコンビニや公園、近隣には新町中学校や森下記念病院東林ふれあいセンターがあり、東林間駅にも相模大野駅にも歩いていける便利な住みよい環境にあります。ただこの2棟、A棟は1丁目に、B棟は4丁目に道路を隔てて建っていることから、初期の自治会活動は避難所の統一だったと聞いています。

その自治会活動、以前は子どもを中心とした活動で交流も活発だったのですが、子どもの減少や独立に伴い行事や活動の休止が多くなっています。現在は居住者交流の場として「ふれあいの会」が活動しており、談話や情報交換の「ふれあいサロン」、健康維持の「太極拳教室」、趣味活動の「自由クラブ」など、「楽しいマンションライフ」を目標に交流を行っていきます。また、高齢者支援センターに定期的な勉強会をお願いし、健康生活の相談やアドバイザーを頂いています。さらに民生委員や社会福祉協議会にご協力をいただきながら、「災害時要援護者支援活動」への取り組みをユックリとですがはじめています。

我等がコミュニティ

さがみ南自治会
会長 秋山 季猷

相南1丁目24番、ここが我等の居所です。敷地面積約16500㎡の私有地に鉄筋コンクリート造の集合住宅13棟(うち1棟は市営住宅として市に賃貸)に611世帯(市営住宅5号棟50世帯を除く)が居住するコミュニティです。

10数年前、再開発に際し市に寄贈した、さがみ南公園(1550㎡)において元旦から大晦日まで天候に左右されることなく毎日、NHKラジオ体操を励行することで地域住民に情報交換の場を提供しています。私達の「こども110番の家」では、近隣の東林中学校生3人、東林小学校複数人の求めに応じ間食を提供し、未来を担う子どもたちの哺育の一端を支えています。私達複数の仲間は、毎朝私達のコミュニティとその周辺公道の塵拾いを実践し、環境美化に此の方取り組んでおり、引き続き努めてまいります。

我が国の大きな社会問題である少子高齢化は、我がコミュニティにおいても、その例に洩れず加齢とともに心身機能が低下した独居老人が増えつつあり、そのうえ長い人生経験に基づくプライドからなかなか公共の助けを借りようとならない頑なさや周辺に波風を立てるが、それすら理解できないことから起こる摩擦は、増えこそすれ減ることはないであろうと考えると対応に苦慮することを受せざるを得ません。

平成29年度 下半期スケジュール

- 9月 東林ふるさとまつり
- 10月 地区体育祭
- 11月 東林ふくしまつり
- 12月 地区防災訓練
- 安全・安心 キャンペーン
- 年末年始特別警戒

編集後記

多少なりともお役に立てればと思ひ、今年自治連広報委員に就任しました。

最近かなり体力が落ち、ちょっとした運動で足腰が痛くなったりするようになりましたが、極力、体と頭を動かして若さを保ちたいと思っております。歌と飲み会も歓迎。(黒子 信雄)

今回、東林地区自治会連合会の広報委員を担当することとなりました。自治連のホームページ、広報紙「とつりん」の編集等々、不安もありますが、先輩諸氏のご指導を受け市民の皆さんに見やすく、愛される広報紙創りに努力いたします。(蔵元 義弘)

平成29年度 広報委員

- 委員長 中澤 秀樹
- 副委員長 吉武 早苗
- 齋藤 良幸
- 黒子 信雄
- 蔵元 義弘

